

県内の遺跡・遺物14

ひらばやしじょうせき  
**平林城跡**

所在地：岩船郡神林村平林大字葛籠山

国指定：昭和53年9月18日

平林城跡は中世阿賀野川以北に割拠した「揚北衆」の一人であった色部氏代々の居城であり、戦国末期の居館と山城の諸施設が大変よく残っています。山麓には城主や家臣が平時に生活した居館跡があり、堀と土塁で3つの曲輪に区画され、門や井戸の跡も残っています。居館跡背後の丘陵を尾根づたいに登って行くと馬洗池・首切清水といった湧水池があり、物見山を経て要害山頂に達します。山頂は南に向かい三段階をなす主郭を中心に、多くの腰曲輪や棧敷状の小段が巡り、戦時における堅固な山城の様子を窺い知ることができます。城主であった色部氏は鎌倉時代に小泉庄加納に入部した秩父氏の流れで、色部条に拠ったことから色部氏を称しました。その後永禄～天正年間には上杉氏麾下の有力国人として活躍しましたが、慶長3（1598）年上杉氏の会津への移封に従ってこの地を離れました。



居館本丸虎口跡と空堀

**あとがき**

暑さの中での毎日の発掘調査に加えて埋文センターへの移転もあり、今年の夏は例年にも増して慌ただしいものとなりました。中には荷物を現場へ避難させていた人もいたとか。今年度の調査も終盤戦へと入ってきました。夏の疲れが出ないよう、体に気をつけて頑張りましょう。（K）

**埋文にいがた No.16**

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団  
 〒956 新津市金津93番地1  
 TEL (0250)25-3981  
 FAX (0250)25-3986  
 印刷 有限会社 双葉印刷